



INTERNATIONAL
ICE HOCKEY
FEDERATION

2014 IIHF NEW RULES WORKSHOP

Frankfurt, Germany, June 13, 2014

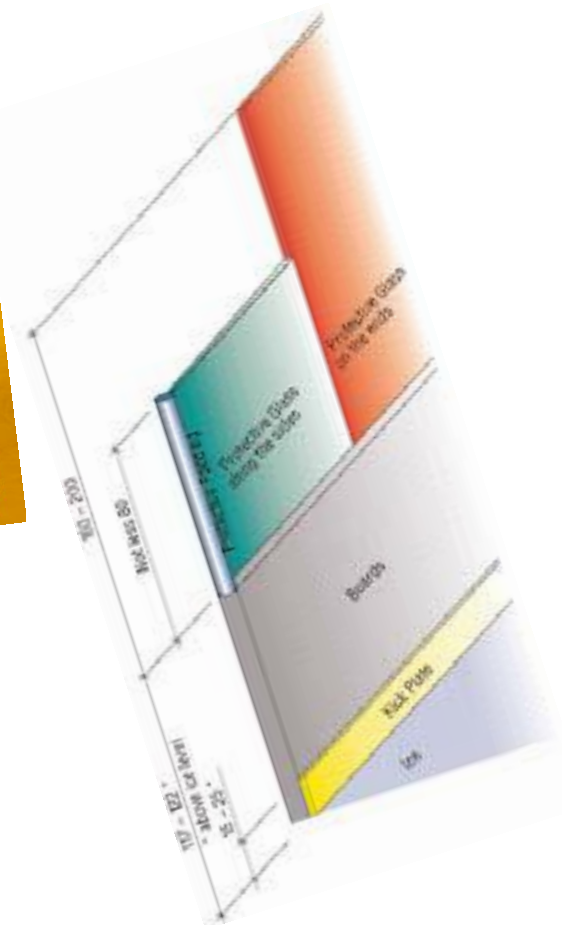
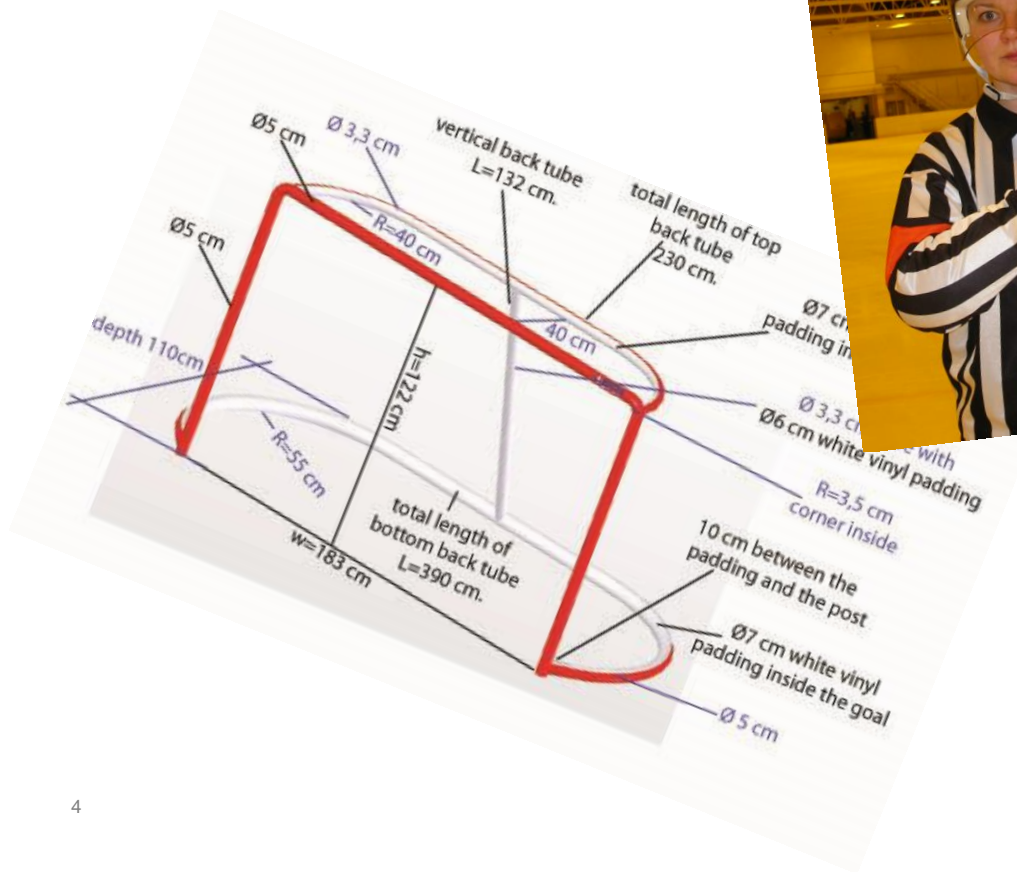
新ルールワークショップの目的

- 新しいIIHFルールブックを作成する理由の説明
- ルールブックの進化、発展の歴史を振り返る。
- ルールブックの新しいレイアウト、構成、内容の説明
- ルールの文言修正、マイナーチェンジの概要の説明
- ルールのメジャーチェンジに関するディスカッション、新ルールに慣れる。
- 各種大会におけるIIHFオフィシエイティング・スタンダードを説明する。

IIHFルールブックー進化と発展

- 1998/99シーズンにてIIHFルールブックが新しいデザインと形式を導入し既存のルールが新しく書き直された。
- 新しいA5サイズのルールブックにはカラー写真、表、図面、色文字が活用された。
- ルールページの対となるページにノート欄が設けられた。
- 「全情報を一冊」とし、全年代、全競技者を対象とした。
- 新バージョンでは参考として補足情報が拡張された。

進化と発展



**16シーズンも活用され、
26の言語で発行された...**

しかし欠点も出てきた

- 重複している情報でその他のIIHF発行書面と矛盾する点が出てきた。
- 一貫性のない表現や矛盾点が増えてきた。
- ルール解釈に関する通知が重なり、回数も増え、IIHFケースブックの拡張が必要となった。
- ゴールキーパー用具の計測が定期的になり、その頻度も増した。
- 図面、表、写真が古くなってきた。
- 現行ルールブックの構成ではルール説明や適用に関する重要な情報が全て含まれていない。

IIHFルール コンgress概要

- 2014 IIHFルールブックの作成が遅れている。
- 2013 IIHF加盟国は現理事の選挙(2012年9月)と委員会委員決定が2013年1月まで遅れる為、ルール改正提案の提出を通常より1年間遅らせることを承認した。
- ルール改正提案を受け付けたところ86件のルール提案があり、うち55件は既存ルールの改正、2件の新ルール導入であった。
- これらの提案のうち4件は委員会検討事項とされ、12件は提案した加盟国が取り下げ、51件は文言修正・マイナーチェンジ案件として扱われた。19件はメジャーチェンジとして競技の特性を大きく左右する「ゲーム・チェンジャー」案件として扱われた。

新しいレイアウト、掲載内容・構成に関する概念





INTERNATIONAL
ICE HOCKEY
FEDERATION

2014 IIHF

文言修正 & マイナールール改正概要

文言修正・マイナールール改正の概要

- 2ヶ月の加盟国による提案内容の確認期間を経て51件の文言修正・マイナールール改正案件は先般のIIHF年次総会にて全会一致で承認された。



- 次の点が変更された ...

Rule Upgrades During the 2013/14 Season



文言修正・マイナールール改正の概要



- 試合中に資格を有さない選手を退場させる手順が承認。
- 身長2m超選手のスティックの長さが承認
- ワンピースのGKグローブが承認
- 機能しているビデオゴールジャッジシステムがある場合、ゴールジャッジは不要となった。
- パックのアウト・オブ・バウンズルール適用の説明
- 相手選手を意図的に脚を使って激しく転倒させる、スルーフットイングルールが承認
- 選手やチームオフィシャルによるゲームオフィシャルへの暴力・暴言・侮辱行為の適用に関する明文化

文言修正・マイナールール改正の概要



- GK用具サイズをIIHFルールブックから削除
- ルールブックから「いさかい」という表現を削除
- インターフェアレンスルールにおけるボディポジションの明確化
- 頭部・首へのチェックに関する明確化
- アンスポーツマンライク・コンダクト ペナルティの導入
- 破損スティックルール適用の明確化
- ゴールネットが外れた時の得点を認める際の明確化

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- DEFINITION: A player or team official who commits a violation of the rules pertaining to sportsmanship, fair play, and respect.
- 定義: スポーツマンシップ、フェアプレーまたはリスペクトに関する規則違反をみせる選手、チームスタッフ。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- i. A player or team official who commits a violation of the rules of sportsmanship, fair play, and respect will be assessed a minor penalty or bench-minor penalty.
- スポーツマンシップ、フェアプレーまたはリスペクトの規則違反をみせる選手またはチームスタッフに対して、マイナーペナルティまたは、ベンチマイナーペナルティが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- ii. A player or team official who celebrates with or congratulates a teammate after an injury to an opponent will be assessed a minor or bench-minor penalty.
- 怪我をした相手チーム選手に対して、喜ぶようなアクションなどをみせる選手または、チームスタッフに対してマイナーペナルティまたはベンチマイナーペナルティが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- iii. An attacking skater who sprays a goaltender who freezes the puck for a whistle will be assessed a minor penalty.
- アタッキングチームの選手は、キーパーがパックを抑えている状態に対して故意的に目の前でストップし、雪をキーパーに掛けた場合、マイナーペナルティーが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- iv. An attacking skater who shoots the puck at the goaltender after a whistle will be assessed a misconduct penalty.
- オフィシャルがプレーを止めようとホイッスルを吹いた後にアタッキングチームの選手が故意にパックをキーパーに対してシュートを打った場合、ミスコンダクトペナルティーが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- v. If the violation is flagrant or if a player or team official continues his unsportsmanlike conduct, he may be assessed a misconduct penalty.
- 違反が目に残る反則もしくはチームスタッフがスポーツマンシップ、フェアプレーまたはリスペクトに関する規則違反を続ける行為をみせた場合、ミスコンダクトペナルティーが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- vi. If the player or team official continues his unsportsmanlike conduct for which he has been assessed a misconduct penalty, he may be assessed a further game-misconduct penalty.
- 選手・チームスタッフがスポーツマンシップ、フェアプレーまたはリスペクトに関する規則違反を続ける行為をみせた場合、ミスコンダクトペナルティーが科せられてもまだ続ける行為をみせた場合、ゲームミスコンダクトペナルティーが科せられる。

168ーアンスポーツマンライクコンダクト



- vii. A player or team official who threatens, makes racial or ethnic slurs, spits, smears blood, or makes sexual remarks to any person will be assessed a match penalty.
- 選手またはチームスタッフは、リンク内すべての人に対して性的発言、人種や民族中傷、唾を吐く、血を汚す場合マッチペナルティが科せられる。



INTERNATIONAL
ICE HOCKEY
FEDERATION

2014 IIHFメジャールール改正 概要

メジャールール改正の概要

- メジャールール改正19件がベラルーシ・ミンスクで開催されたIIHF年次総会で提案された。
- 副会長ボブ・ニコルソンの指導のもと、ワークショップセッションが実施され出席した64の加盟国が参加した。
- 19件の提案のうち12件が却下され、7件が導入された。

101 – リンクの寸法

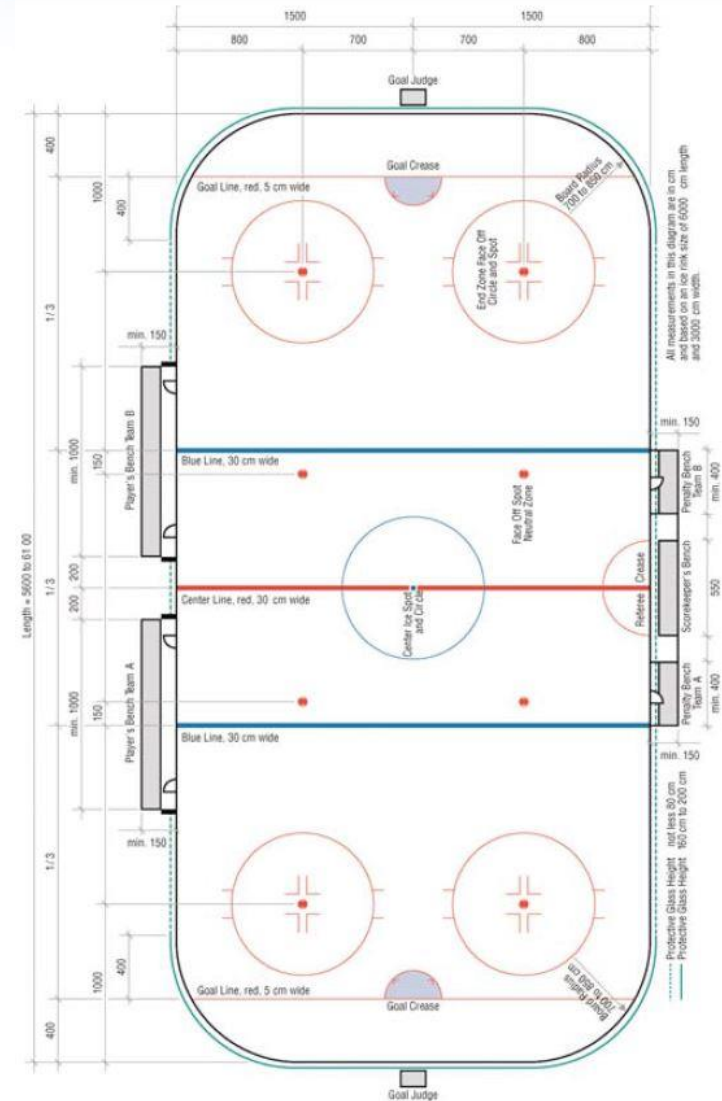


現行ルール及び新ルール

For IIHF competitions the size shall be 60 to 61 metres long and by 29 to 30 metres wide. 公式大会では長さ60m～61m、幅 29m～30mとする。

For IIHF competitions **the dimensions are 60 metres long by 26 to 30 metres wide. The World Championship shall be 30 X 60. Other dimensions shall be subject to approval by the IIHF.** 公式大会では長さ60m×幅26m～30mとする。世界選手権では30m×60mとする。その他の寸法はIIHFの事前承諾が必要

承認



102 – Boards

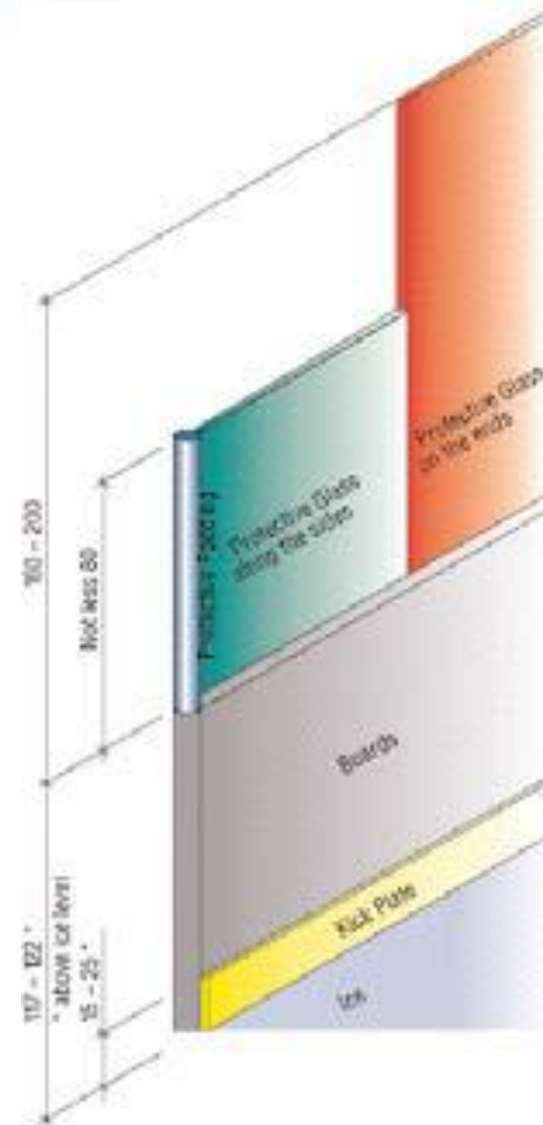


現行ルール及び新ルール

b) They shall be not less than 1.17 metres and not more than 1.22 metres in height above the level of the ice surface
ボードの高さは氷面から高さ1.17m以上、1.22m以下とする。

b) They shall be 1070mm in height above the level of the ice surface. The height of the dasher boards shall be measured from the top of concrete slab (floor) to top of the top sill shall be 1100mm. 氷面から高さ1070mmとする。ダッシャーボードの高さはコンクリート厚板（床）からボード天辺までを計測し、1100mm とする。

承認



105 – Protective Glass



現行ルール及び新ルール

The protective glass located above the boards shall be 160 cm to 200 cm in height on the ends and shall extend 4 metres from the goal line towards the neutral zone and not less than 80 cm in height along the side, except in front of the player benches. ボードの上の保護ガラスの高さは、エンド沿いおよびゴールラインからニュートラルゾーンに向かって4mの間は160cm～200cm、プレイヤーズ・ベンチの前を除くサイド沿いは80cm以上とする。。

a) The protective shielding (spectator shielding) shall be an acrylic shielding system or equivalent system providing optimum flexibility without backlash effect in order to reduce risk of injury to the players.保護シールド(観客シールド)はアクリル素材のシールドシステムもしくはそれと同等のシステムとし、選手への負傷リスクを軽減する為、反動効果がなく、適した柔軟性がある素材とする。

b) The protective shielding located above the boards shall be 2400mm in height on the ends and shall extend 4m from the goal line towards the neutral zone and shall be 1800mm in height along the sides, except in front of the player benches.ボードの上に位置する保護シールドの高さはエンド及びゴールラインからニュートラルゾーン方面に向けて4mまでの地点は高さ2400mmとし、サイドではプレイヤーズベンチ前を除き、高さ1800mmとする。

d) 保護シールドに穴・隙間がないものとするが、レフェリーと会話する為のスコアキーパー前の穴は除く。No openings are allowed in the protective shielding with the exception of the hole in front of the Scorekeeper to allow him to speak with the Referee

承認

112 – Blue Lines

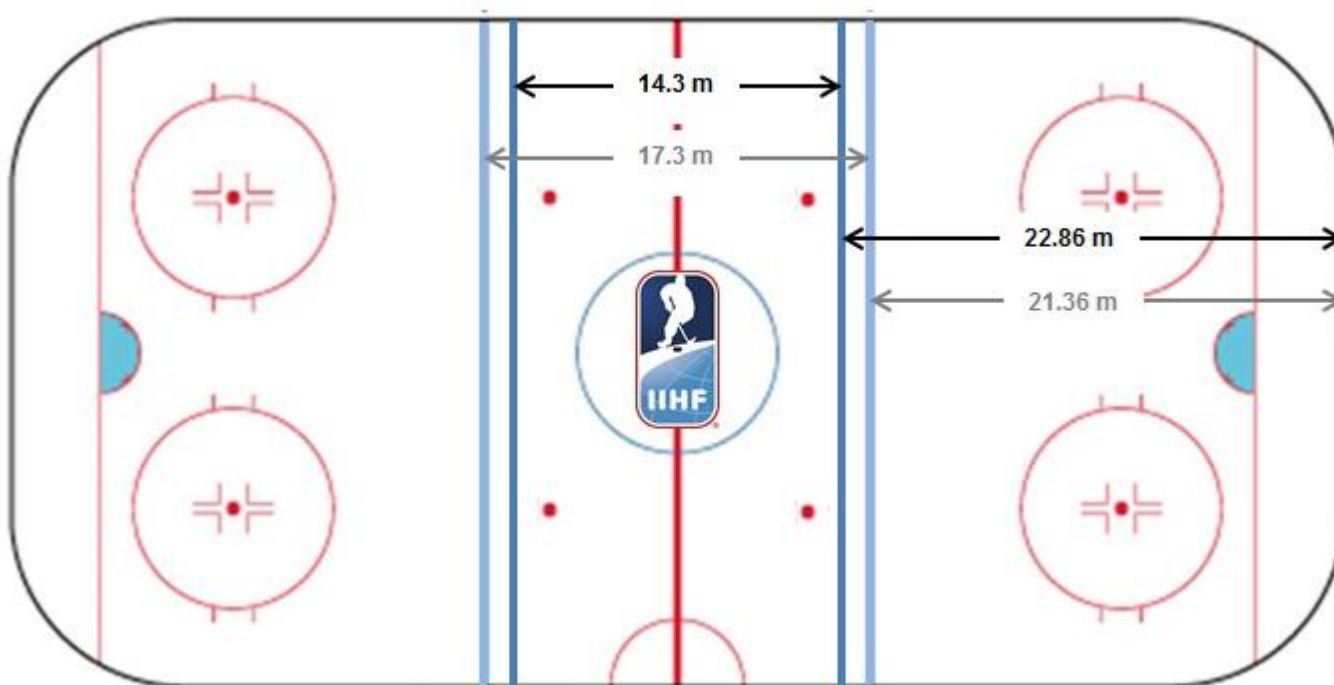


現行ルール及び新ルール

統一化を図る為、オフェンス／ディフェンスゾーンの寸法を大きくし、エンドボードからブルーライン（中央）までの距離を22.86mとする。

（IF事務局からの回答：リンクサイズが短い場合でもエンドからBL中央まで22.86mとし、ニュートラルゾーンで調整する。）

承認



411 – プレイヤーとゴールキーパー交代



現行ルール及び新ルール

- b) If, during a substitution, the player entering the game plays the puck or makes any physical contact with an opponent while the retiring player is actually on the ice, there shall be a Bench Minor penalty for Too Many Players on the Ice (Rule 573). 交代の際、退くプレイヤーが氷上にいる間に、交代出場するプレイヤーがパックをプレイしたり、相手と身体的に接触した場合、トゥー・メニー・プレイヤーズ・オン・ジ・アイスのベンチマイナーペナルティが科せられる。
- b) If, during a substitution, the player or players entering or leaving the game plays the puck or makes any physical contact with an opponent while the retiring player or players are on the ice, there shall be a Bench Minor penalty for Too Many Players on the Ice (Rule 573). 交代の際、退くプレイヤー（1名もしくは複数名）が氷上にいる間に、交代出場するプレイヤー（1名もしくは複数名）或いは退くプレイヤー（1名もしくは複数名）がパックをプレイしたり、相手と身体的に接触した場合、トゥー・メニー・プレイヤーズ・オン・ジ・アイスのベンチマイナーペナルティが科せられる。

承認



442 – フェイスオフ実施手順



現行ルール及び新ルール

- c) The player of the attacking team in his attacking half of the rink shall place his stick on the ice first followed immediately by the player of the defending team. **アタッキング・ハーフ**にいる**アタッキング・チーム**のプレイヤーが先にスティックを氷につけ、**ディフェンディング・チーム**のプレイヤーが速やかに続くものとする。
- c) The player of the **defending** team in his **defending** half of the rink shall place his stick on the ice first followed immediately by the player of the **attacking** team. **ディフェンディング・ハーフ**にいる**ディフェンディング・チーム**のプレイヤーが先にスティックを氷につけ、**アタッキング・チーム**のプレイヤーが速やかに続くものとする。

。

承認



460 – アイシング・ザ・パック:ハイブリッドアイシング

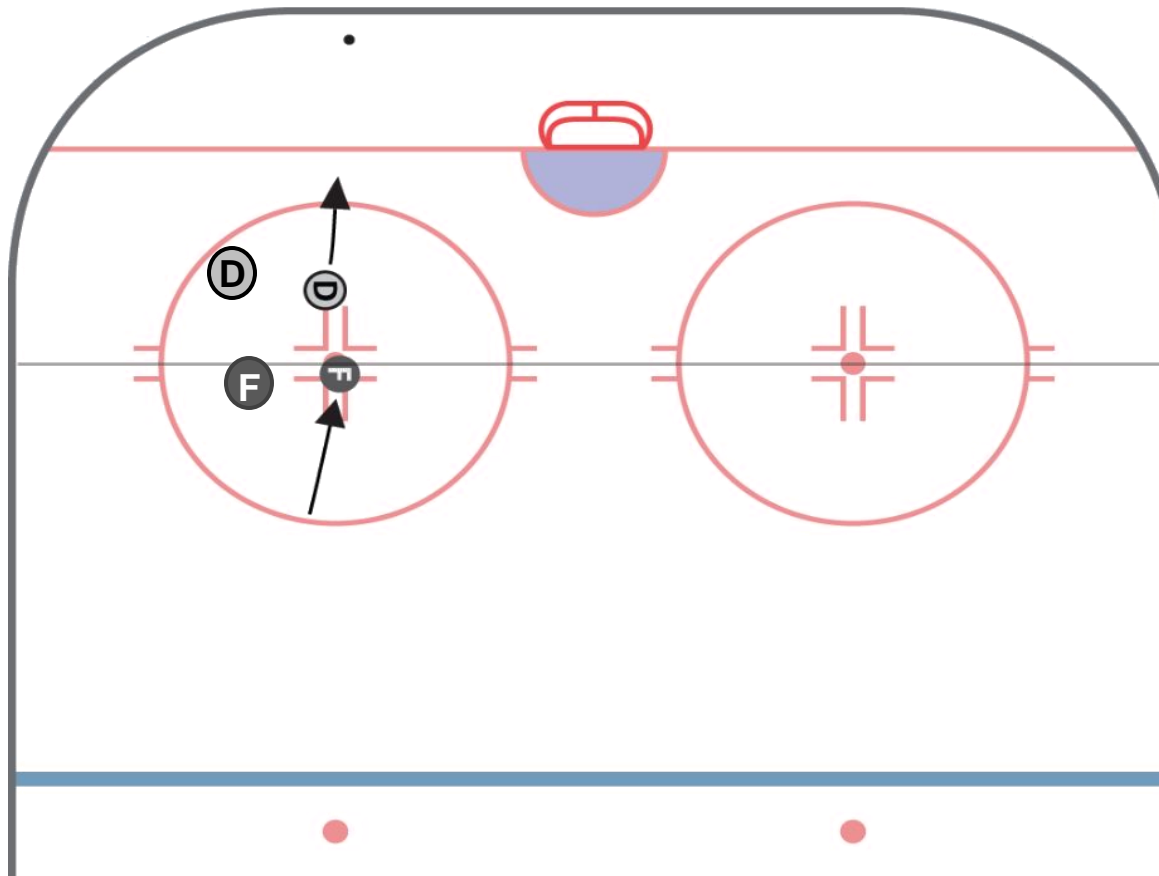


For the purpose of interpretation of the rule, there are two judgments required for “icing the puck”. 当ルール解釈で「アイシング・ザ・パック」を適用する場合は2つの判断をする必要がある。

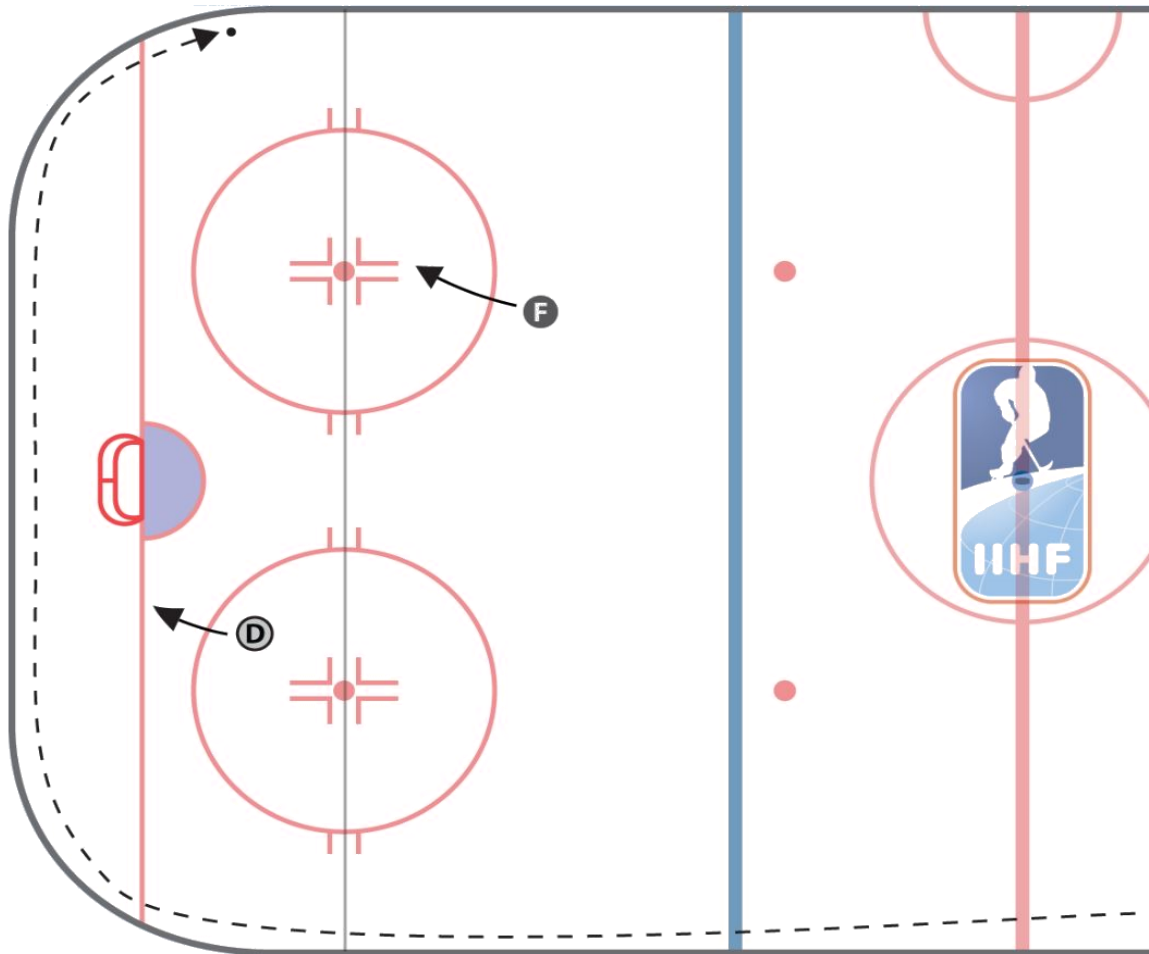
1). The Linesman must first determine that the puck will cross the goal line. Once the Linesman determines that the puck will cross the goal line, icing is completed upon the determination as to which player (attacking or defending) would first touch the puck. This decision by the Linesman will be made by no later than the instant the first player reaches the end zone faceoff spots, with the player's skate being the determining factor. ラインズマンは第一にパックがゴールラインを越えるかを判断しなくてはならない。ラインズマンがパックがゴールラインを越えると判断した後、どちらの選手（攻撃あるいは守備）が先にパックを触れるかを判断してアイシングの有無が決まる。このラインズマンの判断は最初の選手がエンドゾーンのフェイスオフスポットに到着する時点までに決めなくてはならず、判定要素は選手のスケートとする。

2). Should the puck be shot down the ice in such a manner that it travels around the boards and/or back towards the end zone face-off spots, the same procedure shall be in effect in that the Linesman shall determine within a similar distance as to who will have touched the puck first. For clarification, the determining factor is which player would first touch the puck, not which player would first reach the end zone faceoff spots. If the race for the puck is too close to determine by the time the first players reaches the end zone face-off spots, icing shall be called. パックを奥深くに撃ち、ボード際を廻り、エンドゾーンフェイスオフスポットに向けて戻ってくる場合は、同じ手順でラインズマンが、似た距離まで（パックを触るであろう地点と、最初の選手の位置の距離は、ゴールライン～フェイスオフスポットと似た距離）に、どちらの選手が先にパックを触れるかを判断基準とする。これは、どちらの選手がエンドゾーンフェイスオフスポットに到着するかは判断基準としない。最初の選手がエンドゾーンフェイスオフスポットまでに到着する時点で、パックまでの競争を決める判断が困難な場合はアイシングとする。

460 – アイシング: ハイブリッドアイシング #1



460 – アイシング: ハイブリッドアイシング#2



509 – ペナルティショットの手順



現行ルール及び新ルール

Notes section of rule 509:

6. The “spin-o-rama” type of move where the player completes a 360° turn as he approaches the goal, shall be permitted as it involves continuous forward motion. プレイヤーがゴールに接近して360度回転する動き「スピン・オー・ラマ」は、継続的な前進する動きと見なされ認められる。
6. ペナルティショット（PS）或いはゲームウィニングショット（GWS）を行う際に、プレイヤーがゴールに接近して360度回転する動き「スピン・オー・ラマ」やラクロスのような動きは認められない。
During the course of the Penalty Shot (PS) or Game Winning Shot (GWS) the “spin-o-rama” or lacrosse type of move where the player completes a 360° turn as he approaches the goal is not permitted.

承認

